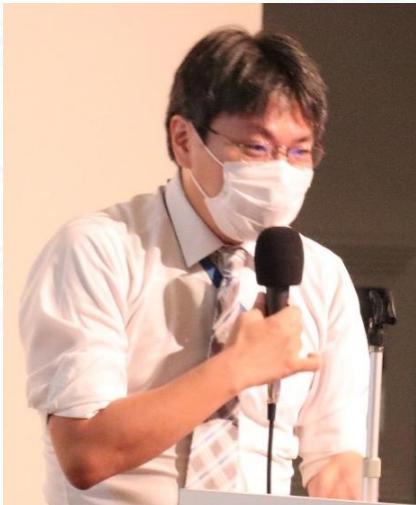


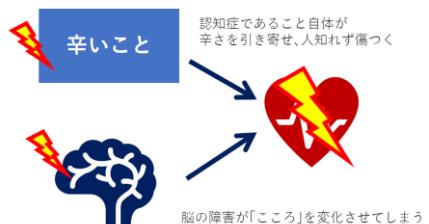
# 第67回在宅ケアネット渋川 講演会レポート

[日時] 9月17日(水) 19:00~20:15 [会場] プレヴェール渋川  
[演題] 「認知症の「こころ」を知り、寄り添うための基礎知識」  
[講師] 群馬大学医学部附属病院  
精神科神経科 医師 藤原 和之 先生



職種	計
医師、歯科医師、薬剤師	12
看護職(保健師・看護師)	41
PT/OT/ST	15
介護支援専門員	19
介護職	23
管理栄養士・栄養士	3
PSW・MSW・相談員	12
事務(行政含む)/その他	8
合計人数	133

## ★重要：認知症では…



## 質問：さて、突然ですが、想像してみて下さい

もし皆様が、近しい人から身に覚えのないことで怒られたり不機嫌な態度を取られたりしたらどう思いますか？

認知症当事者の方は、何かおかしな言動をしてしまったのかもしれません。ご本人は、それを十分に認識できていません。

【講演資料より抜粋】

今回は、公認心理士の資格も持つ藤原先生による、認知症の方の心理面に着目した講演でした。認知機能の低下により認知症の方の心はどのような状態なのか、どのような心理・思考でBPSDが助長されてしまうのか、丁寧に説明してくださいました。行動の理由を考えるだけでなく、行動の基となる思考の過程を考え、心が傷つかないように対応することも大切。「認知症 いつか自分も 通る道」未来の自分をケアするつもりで、寄り添ってみてください、とのお話をしました。認知症の方だけでなく、支援者である私達にとっても寄り添ってくださった講演でした。

## 【参加者の感想（一部抜粋）】

☆認知症について基礎知識からおさらいすることができて良かった。支援者として、どのように寄り添うべきなのか、当事者の気持ち・心理の例をあげていただきながら対応方法を考える事ができ、わかりやすかった。

☆基本的な内容でしたが、日頃からの対応の仕方についての精神・こころ・脳からの裏付けを、わかりやすく講義いただきました。

## 【参加者の感想（一部抜粋）】

☆認知症の対応に困って悩んでいる支援者を多く見てきた。この講話をぜひひきいてもらいたいと思った。

☆嫉妬妄想や物盗られ妄想などに至る心理・感情が理解できました。悪循環にならないような対応を、機会がある時にタイミング良く伝えていきたいと思います。

☆人知れず傷ついている、こころを知ることが大切なことがよく分かりました。いつか自分も通る道・・・胸にしました。やさしい心で支援していきたいです。

☆日頃の業務の中で「そうそう、よくある」と思いながら聞いていました。認知症の方と接する時は、心にゆとりを持っていないと、正しい対応ができないなと感じています。認知症の方の心を傷つけないように心がけたいです。お互いに笑顔になれるよう過ごしていきたいです。

☆相手をいかに安心で包めるかという、日々の努力が報われる内容でした。明日から又楽しく会話をしながら、ケアに当たりたいと思います。

## POINT⑦ BPSD対応のコツ

当たり前かも知れませんが…

脳の障害によって生ずる部分は改善困難。  
脳の障害は受け入れて、  
心の叫びに応えるような支援を



薬が有効なケースもありますので、ご相談下さい